

斎藤友紀雄委員提出資料

- I. 日本いのちの電話連盟報告
- II. 日本自殺予防学会
- III. 青少年健康センター

平成26年2月4日

第2回自殺対策官民連携協働会議

I. 日本いのちの電話連盟報告

平成25年度行事報告

○電話相談事業

昭和46年事業開始以来43年が経過し、現時点で相談センター49か所、山口県で開設準備がされている。平成25年度の全国の年間相談件数は77万件と予想される。また毎月10日に実施されているフリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」(補助事業)は、平成11年以来14年目となる。

○第31回いのちの電話相談員全国研修会大阪大会

日程：2013年10月25日—27日

総主題：わすれんで、あんたのこと—みんな誰かの大切な人

主題講演：鷺田清一(大阪大学前学長)

会場：大阪国際交流センター

参加者：835名

○日本自殺予防シンポジウム(補助事業)

日本自殺予防学会、第37回日本自殺予防学会総会開催時に、同学会との共催で実施された。

日時：2013年9月15日(日)

場所：秋田市

平成25年度事業報告

○『東日本大震災「いのちの電話」フリーダイヤル事業』(23年—25年)
大震災発生直後に開始、昨年4月まで2か年継続したが、このほど報告書を作成した。グリーフ・ケア、自殺予防にも成果があったと思われる。(冊子参照)

○平成26年度事業予定

第32回いのちの電話相談員全国研修会群馬大会

日程：2014年11月13日—15日

総主題：連なるやまなみ 響きあういのち

会場：磯部ガーデン

II. 日本自殺予防学会

平成25年度日本自殺予防学会事業報告

○第37回日本自殺予防学会総会(2013年9月13日(金)—15日(日))を秋田市で開催、650名参加。

大会テーマ：「多様な自殺予防のあり方を模索する」

大会長稲村茂(秋田駅前メンタルクリニック院長) 内閣府田辺靖夫参事官がシンポジウムに参加。

○学会誌「自殺予防と危機介入」第33号を発売

○国際自殺予防学会（IASP）2016年アジア会議の東京開催を予定し、企画
中である。

平成26年度日本自殺予防学会事業予定

○第38回日本自殺予防学会総会大会（大会長:中村 純（産業医科大学精神医学
教室教授）

テーマ 「いのち」について考える一分かち合える社会を目指して一

日時：2014年9月11日(木)～13日(土)：

会場：北九州国際会議場（福岡県北九州市小倉北区浅野 3-9-30

Ⅲ. 青少年健康センター

平成25年度青少年健康センター事業報告

○「クリニック絆」ー青少年対象の自殺予防電話・面接相談の実施

平成24年から25年までのほぼ2年間に受信した相談総数は男女合わせて662
件、自殺念慮ありは78件で、11.8%であり、この種の相談としては平均的数
値と言えよう。精神科医による相談（含面接）は40件ほどでまだ少ない。

○講演とシンポジウム

平成25年11月26日 午後

会場；北の丸・科学技術館

「新型うつ病をどう理解するか」

講師：齋藤環（筑波大）、井原裕（独協医大）、富岡等（北里大）

うつ病に関する議論よりも、圧倒的に自殺問題を抱える家族からの質問が多
かった。



死ぬほど
づらいときに...

自殺、ひきこもりなど心の危機の時に
03-5319-1760
(無料)

● 電話相談 月曜日～金曜日 13:00～18:00
● 専門相談 土曜日 14:00～18:00
(精神科医による電話もしくは直接での相談を受け付けております。)
※通話心機は有料。※通話予約受付は、月曜日～土曜日 13:00～18:00
※日曜・休日は休みです。 WEBサイト <http://sko-net.jp>

クリニック絆